

第4章 生命表

1 平均寿命の推移（表1、図1）【統計編 3-第2表】

平均寿命（0歳の平均余命）は男女とも戦後大幅に延び、平成に入ってからには緩やかな上昇傾向を示している。

令和2年の平均寿命は男81.48年、女87.48年で、前年と比較すると、男は0.29上回り、女は0.51年上回った。

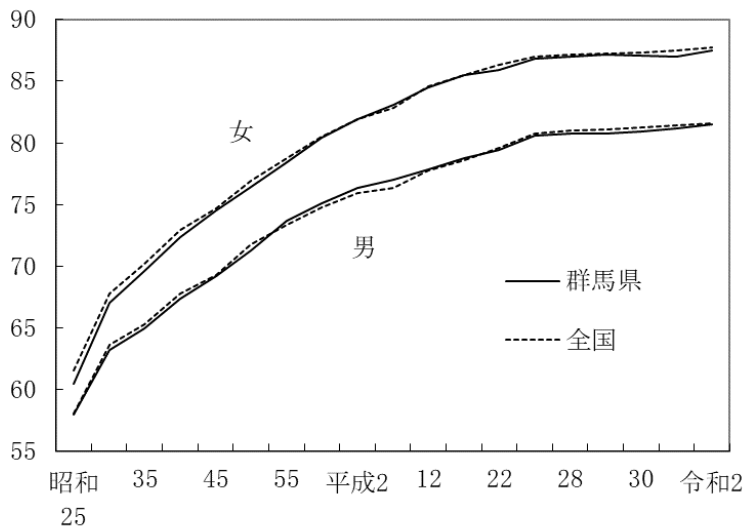
本県と全国とを比較すると、昭和50年までは男女ともに全国を下回っていたが、昭和55年には男73.72年、女78.46年となり、男が全国を上回った。その後、男は平成20年まで全国を上回る傾向で推移していたが、近年では、全国を下回る傾向で推移している。

表1 平均寿命の推移、対全国

年次	群馬県(A)		全国(B)		全国との差 (A)-(B)	
	男	女	男	女	男	女
昭和25	57.94	60.49	58.00	61.50	△0.06	△1.01
30	63.20	67.03	63.60	67.75	△0.40	△0.72
35	64.94	69.62	65.32	70.19	△0.38	△0.57
40	67.34	72.38	67.74	72.92	△0.40	△0.54
45	69.22	74.50	69.31	74.66	△0.09	△0.16
50	71.23	76.42	71.73	76.89	△0.50	△0.47
55	73.72	78.46	73.35	78.76	0.37	△0.30
60	75.11	80.39	74.78	80.48	0.33	△0.09
平成2	76.36	81.90	75.92	81.90	0.44	-
7	76.98	83.12	76.38	82.85	0.60	0.27
12	77.86	84.47	77.72	84.60	0.14	△0.13
17	78.78	85.47	78.56	85.52	0.22	△0.05
22	79.40	85.91	79.55	86.30	△0.20	△0.41
27	80.61	86.84	80.75	86.99	△0.14	△0.15
28	80.75	87.03	80.98	87.14	△0.23	△0.11
29	80.76	87.15	81.09	87.26	△0.33	△0.11
30	80.92	87.11	81.25	87.32	△0.33	△0.21
令和元	81.19	86.97	81.41	87.45	△0.22	△0.48
2	81.48	87.48	81.56	87.71	△0.08	△0.23

【出典】
 群馬県：平成27年以前は都道府県別生命表（厚生労働省）。それ以外は群馬県簡易生命表（県健康福祉課）
 全 国：平成27年以前及び令和2年は完全生命表（厚生労働省）。それ以外は簡易生命表（厚生労働省）

図1 平均寿命の推移、対全国



2 主な年齢の平均余命（表2）【統計編 3-第1表】

主な年齢の平均余命を前年と比較すると、男女ともにすべての年齢で前年を上回った。また、主な年齢の平均余命を全国と比較すると、男女ともにすべての年齢で全国を下回った。

表2 主な年齢の平均余命とその伸び、対前年・全国

年齢	群馬県						全国					
	男			女			男			女		
	令和元年	2年	伸び	令和元年	2年	伸び	令和元年	2年	伸び	令和元年	2年	伸び
0歳	81.19	81.48	0.30	86.97	87.48	0.51	81.41	81.56	0.22	87.45	87.71	0.30
5歳	76.33	76.66	0.33	82.20	82.68	0.47	76.63	76.76	0.20	82.66	82.90	0.27
10歳	71.34	71.66	0.32	77.24	77.71	0.47	71.66	71.78	0.20	77.69	77.93	0.27
15歳	66.34	66.68	0.34	72.25	72.74	0.48	66.69	66.81	0.20	72.72	72.95	0.27
20歳	61.41	61.79	0.38	67.31	67.77	0.46	61.77	61.90	0.20	67.77	68.01	0.27
25歳	56.56	56.96	0.40	62.37	62.90	0.53	56.91	57.05	0.21	62.84	63.09	0.28
30歳	51.69	52.10	0.40	57.46	57.97	0.51	52.03	52.18	0.22	57.91	58.17	0.29
35歳	46.83	47.23	0.40	52.53	53.07	0.53	47.18	47.33	0.23	53.00	53.25	0.29
40歳	42.03	42.38	0.35	47.63	48.24	0.61	42.35	42.50	0.23	48.11	48.37	0.29
45歳	37.25	37.62	0.37	42.81	43.40	0.58	37.57	37.72	0.23	43.26	43.52	0.29
50歳	32.61	32.95	0.34	38.07	38.65	0.58	32.89	33.04	0.24	38.49	38.75	0.29
55歳	28.04	28.41	0.37	33.39	33.96	0.57	28.34	28.50	0.24	33.79	34.06	0.30
60歳	23.63	23.98	0.35	28.76	29.31	0.55	23.97	24.12	0.23	29.17	29.42	0.30
65歳	19.42	19.82	0.40	24.19	24.71	0.52	19.83	19.97	0.23	24.63	24.88	0.29
70歳	15.67	15.97	0.31	19.85	20.32	0.47	15.96	16.09	0.22	20.21	20.45	0.28
75歳	12.13	12.42	0.29	15.62	16.07	0.45	12.41	12.54	0.22	15.97	16.22	0.28
80歳	8.86	9.26	0.39	11.69	12.19	0.50	9.18	9.34	0.24	12.01	12.25	0.27

(注) 小数点第3位を四捨五入しているため、伸びの値が令和2年と令和元年の差と一致しない場合がある。

【出典】群馬県：群馬県簡易生命表（県健康福祉課）全国：元年・簡易生命表、2年・完全生命表（厚生労働省）

3 特定年齢の生存数（表3）

令和2年群馬県簡易生命表によると、男女それぞれ10万人の出生に対して65歳の生存数は男89,879人、女94,551人となっている。これは65歳まで生存する者の割合が男は89.9%、女が94.6%であることを示している。同様に80歳までの生存割合は男が64.0%、女が81.4%となっている。

また、特定年齢まで生存する者の割合を全国と比較すると、男は65歳が0.2%上回り、80歳が0.4%下回った。女は65歳が全国と同率、80歳が0.7%下回った。

表3 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合、対全国

年次	群馬県				全 国				全国との差			
	男		女		男		女		男		女	
	65歳	80歳	65歳	80歳	65歳	80歳	65歳	80歳	65歳	80歳	65歳	80歳
昭和 55	80.9	39.0	88.6	56.1	79.4	37.8	88.5	57.0	1.5	1.2	0.0	△ 0.9
60	81.9	43.9	90.0	62.8	81.1	42.8	90.1	63.0	0.8	1.0	△ 0.1	△ 0.2
平成 2	83.8	48.4	91.2	67.7	82.6	46.9	91.3	67.8	1.2	1.5	△ 0.1	△ 0.1
7	84.1	50.8	91.9	70.8	83.3	48.2	91.6	70.2	0.8	2.6	0.3	0.5
12	85.0	53.0	92.5	74.2	84.7	52.5	92.6	74.5	0.3	0.5	△ 0.1	△ 0.3
17	86.0	55.8	93.0	76.4	85.7	55.2	93.1	76.8	0.3	0.6	△ 0.1	△ 0.4
22	86.8	58.4	93.4	77.9	87.0	58.9	93.6	79.0	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.2	△ 1.1
27	88.6	61.9	94.3	80.6	88.8	62.6	94.2	80.9	△ 0.2	△ 0.7	0.1	△ 0.3
28	89.0	62.7	94.6	80.7	89.1	63.3	94.3	81.2	△ 0.1	△ 0.6	0.3	△ 0.4
29	89.1	63.0	94.6	81.6	89.4	63.5	94.5	81.5	△ 0.3	△ 0.5	0.1	0.1
30	89.1	63.3	94.7	81.1	89.5	63.8	94.5	81.5	△ 0.4	△ 0.5	0.2	△ 0.4
令和 元	90.0	63.6	94.4	80.9	89.6	64.2	94.5	81.8	0.4	△ 0.6	△ 0.1	△ 0.9
2	89.9	64.0	94.6	81.4	89.7	64.4	94.6	82.1	0.2	△ 0.4	△ 0.0	△ 0.7

【出典】群馬県：平成27年以前は都道府県別生命表（厚生労働省）。それ以外は群馬県簡易生命表（県健康福祉課）

全 国：平成27年以前及び令和2年は完全生命表（厚生労働省）。それ以外は簡易生命表（厚生労働省）